

生活支援相談員コーナー

ふるさとサロン【2月15日】



赤十字健康生活支援講習(リラクゼーション)を受講しました!
◆講師:平栗辰也氏(日赤福島県支部)

4月は花見。実施できるといいなあ。



3月10日より、75歳以上の独居世帯・高齢世帯を対象に消防職員と同行訪問を行いました。

サロン参加者募集中!

開催日:毎月第3土曜日 10時~12時
対象:どなたでも!

~退職職員のお知らせ~

さの みつお
◎佐野 光男(生活支援相談員)

令和2年3月31日付けで退職されました。佐野さんは、平成27年から生活支援相談員として勤務され、皆さんが安心して生活できるよう訪問活動に尽力されました。大変感謝しております。ありがとうございました。

会費納入について ご理解とご協力をお願い

広野町社会福祉協議会に係る会費については、前年度、全世帯の約8割の納入となりました。ご協力ありがとうございました。新たに令和2年度の会費納入をご依頼申し上げます。納入にあたっては、行政区を通じて改めてご依頼いたします。町民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

種類	金額	用途(簡略)
一般会費	1,000円	地域の福祉活動等
日本赤十字社社費	500円	災害時の活動費や義援金等
赤い羽根共同募金	500円	じぶんの町を良くするしくみづくり等
歳末たすけあい募金	500円	生活困窮者や課題を抱えた方々への支援

お知らせ

ホームページ開設しました!

広野町社会福祉協議会では以前より準備を進めておりましたホームページを公開させていただきました。アドレスは以下の通りです。

■<https://schit.net/hirono-shakyou/>

今後も引き続きサービス向上のため、ホームページの見直し、コンテンツの充実をはかってまいります。

編集後記

新型コロナウイルスに関する報道に困惑する日々が続く、世界中が大混乱。おかげで、様々なイベントが中止や延期となるなど、判断が難しい状況が続いています。様々な情報が飛び交っていますが、踊らされることのないよう気を付けたいものです。☆ホームページを開設いたしました。順次アップしていきます。ぜひご覧ください。

ひろの社協だより

令和2年4月号 Vol.244

発行/社会福祉法人 広野町社会福祉協議会
編集/広野町社会福祉協議会事務局
〒979-0408
福島県双葉郡広野町中央台1-4-1
TEL:(0240)27-2789 FAX:(0240)27-4537
E-Mail:hironosakyou2789@poplar.ocn.ne.jp
ホームページ:<https://schit.net/hirono-shakyou/>

花いっぱい運動 ~広野町赤十字奉仕団~

3/13

広野中学校



ご卒業おめでとうございます!

お花は、ふたば未来学園高校の生徒さんが育てた「サイネリア」です♪



3/23

広野小学校のみなさん



新たな旅立ちの瞬間に合わせて、今年もたくさんの花を贈らせていただきました。今年は新型コロナウイルスの関係で、学校が休校になるなど大変な事態となりましたが、それ以上に華やかになるよう例年より多くの花を贈らせていただいています。これからも様々な困難を乗り越えて、大きく、世界に羽ばたいてください!

令和2年度 会長あいさつ



会長 遠藤 智

令和2年度、東日本大震災から10年目を迎え、新年度にあたり、ごあいさつを申し上げます。

現在、政府の「新型コロナウイルス感染症対策基本方針」等により、スポーツ・文化イベント等の中止・延期、小中学校等の休校、オリンピック開催延期や聖火リレーの中止など、様々な形で国民の生活に影響が出ている状況にあります。

この現況下、町民の皆さまには、新型コロナウイルス感染症対策について、感染症拡大予防のため、健康管理、マスクの着用、手洗い、うがいの励行を重ねてお願いしている現状です。町民の皆さまの健康と一日も早い新型コロナウイルス感染症の収束を期しております。

近年における福祉を取り巻く環境はめまぐるしく変化しております。少子高齢化の急速な進展や核家族化に伴う家庭・家族の介護力低下など、人と人のつながりを大切にしたい地域福祉の展望が極めて重要であります。

特に、認知症高齢者や一人暮らし高齢者世帯が増加傾向にあり、地域社会や家族形態が変化する中、介護保険だけでは対応できない生活支援ニーズや社会的孤立等を背景とした深刻な生活課題が顕在化しています。

社会福祉協議会は、町民の方々が住み慣れた場所で自分らしく暮らし続けることができるよう、医療・福祉・介護の様々な課題に対し迅速に対応するため、包括的な地域連携として「地域包括ケアシステム」の構築を目的に、町、町内2医療機関と4者協定を締結し、「福祉のまちづくり」の具現化、住民福祉の更なる向上に向け、地域に根ざした事業活動を力強く展開してまいります。

今後も社会福祉協議会職員一丸となり町民の皆さまの福祉向上に全力で取り組みます。ご理解とご協力、誠にありがとうございます。

2月8日(土)

子育て支援事業

親子そば打ち体験!



※この事業は、歳末たすけあい募金の配分事業です。

子育て支援の一つとして「イクメン」「カジメン」を応援する事業「親子そば打ち体験」を実施いたしました。

今回が記念すべき第1回目の事業です。5組の親子が参加してくれました。ありがとうございます!

講師はサロンでもお世話になっている新妻先生。教え方も分かり易く、皆さん初めてでしたが、スムーズに進行できました。

完成した蕎麦は太さや長さもバラバラ。でも自分たちで打ったお蕎麦は格別だったようです。「父子の交流」と「父親の育児や家事への参加」を目的にした事業でしたが、予想以上に楽しんでいただけたようで大変うれしく思います。

1/29

老人クラブ昔遊び交流会



小学1・2年生との昔遊び交流会を行いました。老人クラブからは20名が参加。子どもたちとベーゴマやけん玉、おはじきなど昔懐かしい遊びを楽しんできました。

1/30

老人クラブ新年会



老人クラブ連合会の新年会を「スパリゾートハワイアンズ」で実施いたしました。広野町のバナナも元気に育っていました!

2/15

健康生活支援講習会



足を温めてリラックス

日赤県支部より講師をお招きし、ふるさとサロンの参加者に向けて健康生活支援講習「リラクゼーション講習」を開催いたしました。段ボールとナイロン袋で作る簡単な足湯、身体に触れるだけのリラックス法など災害時にも活用できる内容でした。いざという時、ぜひ思い出してね。

2/25

生きがい事業



進化を続ける詐欺 気を付けよう

今回の生きがい事業は全グループ合同で町駐在所による詐欺に関するお話を聞きました。また、それに関する寸劇を劇団ぼっぼさんがとても分かりやすく演じてくれました。皆さん真剣に鑑賞していました。

午後からは、東日本国際大学の三浦准教授によるものまねショー。ショーの最後は「川の流れるように」を全員で歌いました。